

季節の中で……

勤労生産学習から……

学校教育の充実をめざし  
て児童・生徒が自主的活動

収穫の喜びを多くの人々へ

―大玉村立玉井小学校

玉井小学校六年生は「収穫の喜びをより多くの人々へ」をあいことばに、自分たちの作った野菜を、ユニセフ募金活動にあてています。  
二十二アールの畑には十七種の野菜等が、栽培され、広く大きく豊かな心が育まれています。



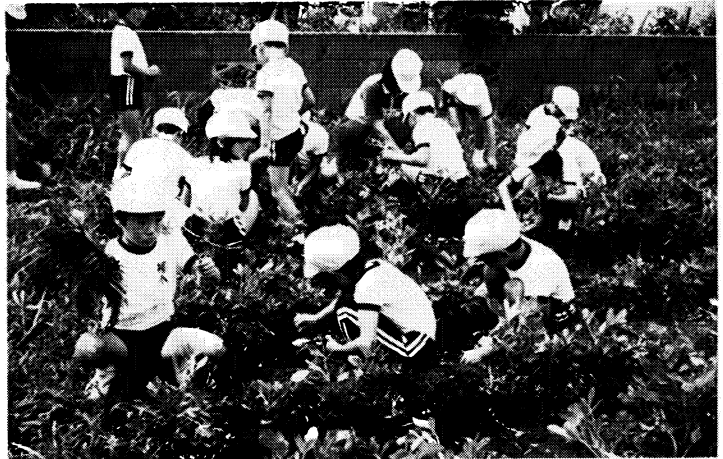
▲野菜の収穫とダイコンのまきつけをする児童たち(玉井小)

自然に親しみ協力して

働く喜びを味わう

―柳津町立柳津小学校

自分たちの手で土を耕し、うねを作り、種をまいて発芽に目を輝かせ、追肥や除草に汗を流しながら、作物の成長に喜びを感じる勤労生産学習は、子どもたちに貴重な体験を与えています。  
子どもたちは、もう収穫感謝祭へと胸をふくらませています。



▲落花生の除草に励む児童たち(柳津小の2年生)

バイオテクノロジーに取組む

―県立白河実業高等学校

昭和五十九年より農業クラブの課外活動として、組織培養班を編成し、バイオテクノロジーの研究に取りくんできています。  
昨年度は、グロキシニアの実用化に成功、今後も多数の草花の生長点培養を試み、その実用化をめざして活動しています。

◀組織培養の実験をする生徒たち(白実高)

